

Eウッドスタイル プレミアム

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

安全注意事項の表示

本文中の  **禁止**  **注意** の表示箇所は特に重要です。必ず読んでお守りください。
守られない場合、思わぬ事故につながり、ケガをする恐れがあります。

禁止

- ◆本製品は隣地との境界を示す目的に設置します。
転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すりとして使用しないでください。
- ◆事故や故障の原因となりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ◆ケガや事故の原因となりますので、製品を破損・故障・変形したままで、使用しないでください。
- ◆破損や事故の原因となりますので、フェンス本体に重いものを載せたり、寄りかかったり、ぶら下がったりしないでください。
- ◆破損や故障の原因となりますので、フェンス板材本体に強い衝撃を与えないでください。
- ◆変形や火災の原因となりますので、火気を近付けないでください。
- ◆変形や変色の原因となりますので、アルコール以外の有機溶剤や石油類を付着しないようにしてください。

☆ 本製品は新しい発想と、製造技術開発により生み出された製品です。
素材は数多くの特長を持っておりますので、一般住宅でも広く使われております。

- このたびは、当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施工者ご自身や他の人々への危害や損害を未然に防止することを目的としています。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱を誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

- 取扱を誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う恐れのある内容、または物的損害の恐れがある内容を示しています。

<施工の前に>



警告

- 本製品は隣地や道路との境界に設置するものです。
転倒防止を目的とした防護柵、歩行補助を目的とした手すり等として使用しないでください。
- 本製品の施工には別売『連結バー材』もしくは『固定部品』が必要です。
使用しない場合、本体の伸縮により反り・割れが生じる場合があります。



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



注意

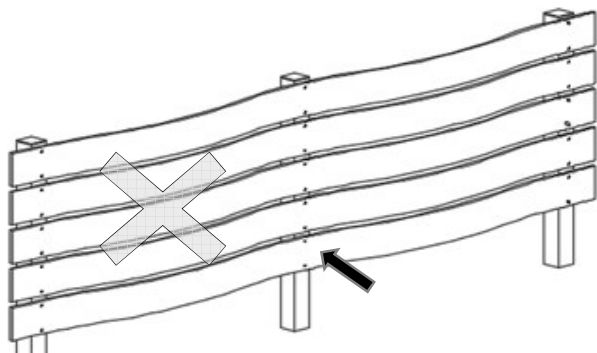
- 施工前に本製品を太陽光に当てないでください。反りや伸縮の恐れがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。変形やキズの原因となります。
- フェンス本体板材の化学的性質は弱酸性・アルカリ・塩類等には優れた抵抗性を持っています。
アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵されやすいので、触れると変色する原因となります。
- 火気があたり続けると軟化や融解をします。火気は近付けないでください。
- 柱のピッチは1000mm以下で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が、大幅に低下します。
- 本製品の取付けについては、本体に同梱されている取付説明書をご確認ください。
- 本製品の施工につきましては、『連結バー材』もしくは『固定部品』をご使用ください。
- 柱は施工現場の状況(風圧など)を考慮し、指定以上の角数・肉厚で十分強度を確保した柱をお使いください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。

⚠【施工上の注意点】

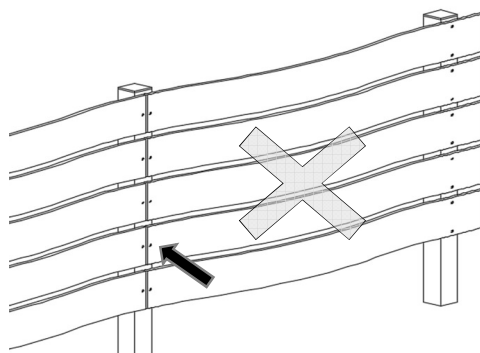
『取付けの基本』に沿った施工を行わなかった場合の事例です。

樹脂製板材の特性である伸縮が吸収されず、結果として、反り、曲がり、外れ、しいては破損の要因となります。

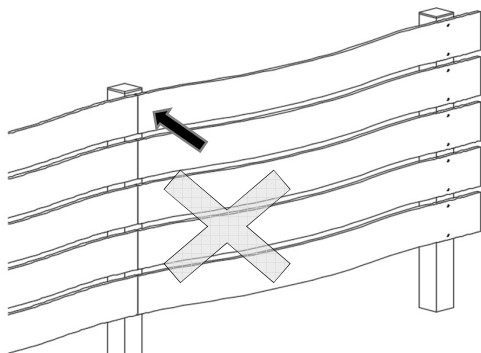
⚠ 連続してネジで固定されている。



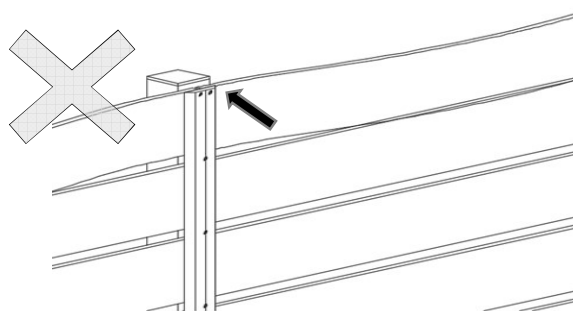
⚠ スライド固定部がネジ止めされている。



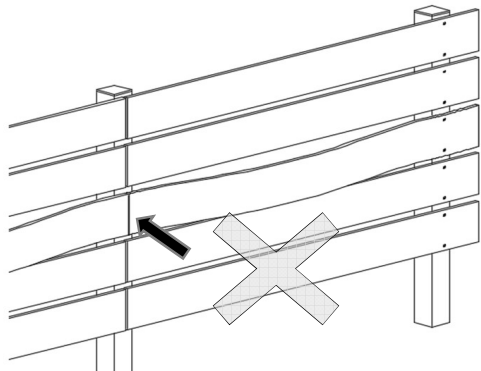
⚠ スライド固定部に、隙間がない。



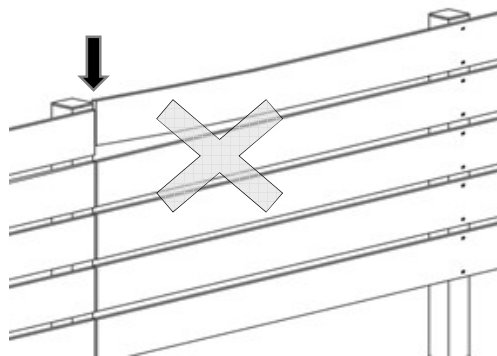
⚠ 柱頭に当て板なしで、ネジ直止めされている。



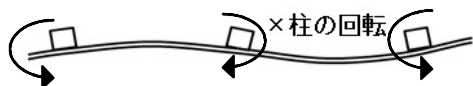
⚠ スライド固定部の一部に、隙間不良がある。



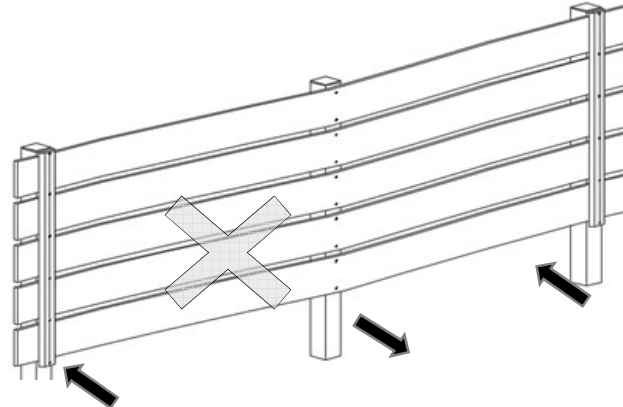
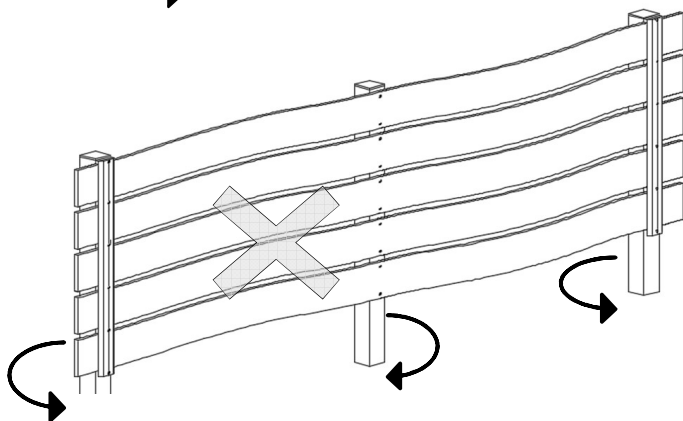
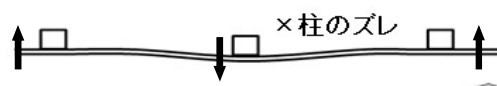
⚠ 柱中心が隙間中心とズれている。



⚠ 柱がねじれて施工されている



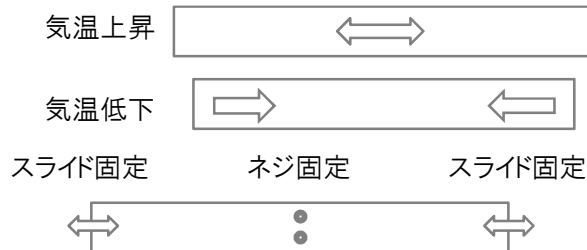
⚠ 柱が前後にズれて施工されている



(1)【樹脂製板材の特性】

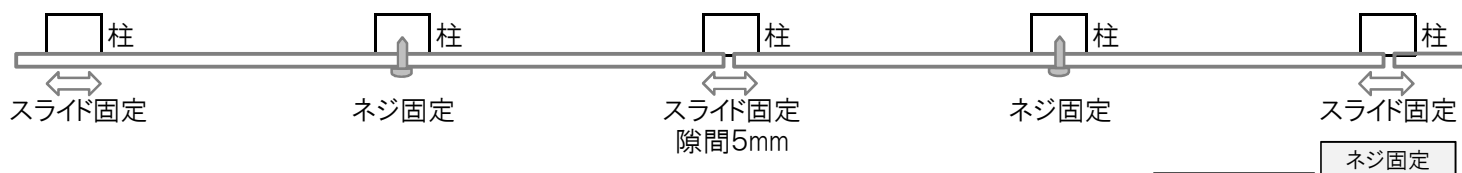
①日中や夜間、晴天や曇天、季節による外気温の変化により、樹脂製板材は長さ中央を基点に伸縮します。

②基本的には、板長さ中央を『ネジ固定』とし、両端部を板の伸縮を可能にする、『スライド固定』としています。



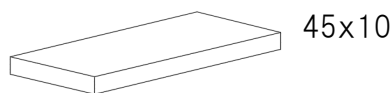
(2)【板固定方法の基本】

①上記(1)【樹脂製板材の特性】をご理解の上、【板固定方法の基本】を、必ず守ってください。

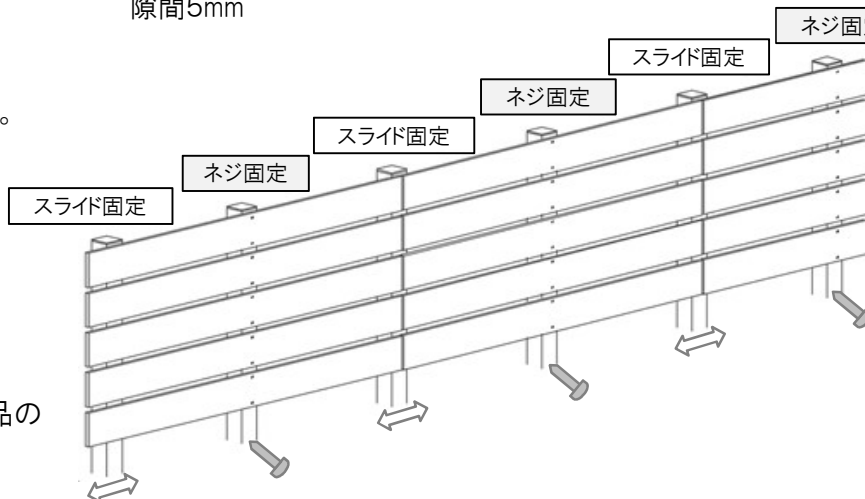


②スライド固定の方法として、『連結バー材 (押え板)』を使用します。

連結バー材

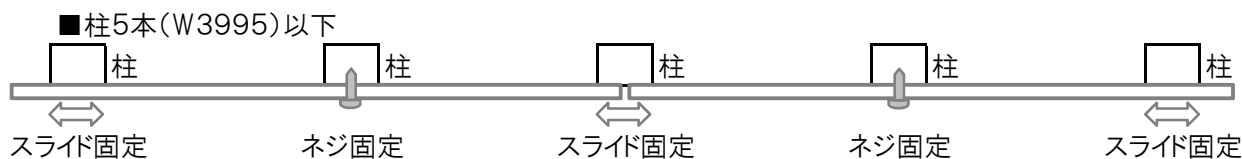
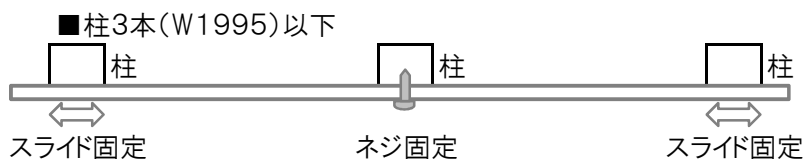
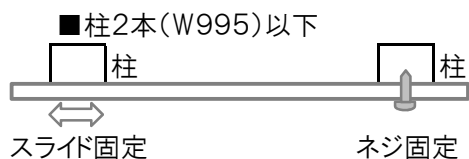


※Eウッドスタイル プレミアム に固定部品の設定はありません。



(3)【固定方法・割付の基本(柱6本以下)】 ※左端部をスライド固定としています。

①設置に伴う柱本数、総延長m数によって、右端部の固定方法が異なります。



(4)【固定方法・割付の基本(柱7本以上)】

①左端部をスライド固定とし、柱本数7本以上の柱本数の場合、右端部の固定方法は、下記通りとなります。

左端部基準	柱本数	柱スパン(柱間)数	右端部固定方法
スライド固定	偶数	奇数	ネジ固定
スライド固定	奇数	偶数	スライド固定

②右端部をスライド固定とし、柱本数7本以上の柱本数の場合、左端部の固定方法は、下記通りとなります。

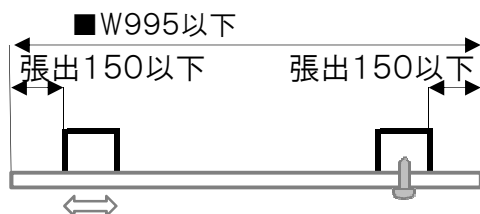
左端部固定方法	柱スパン(柱間)数	柱本数	右端部基準
ネジ固定	奇数	偶数	スライド固定
スライド固定	偶数	奇数	スライド固定

(5)【寸法設定の基本】

※左端部をスライド固定としています。

右端部をスライド固定とする場合は、下図の左右対称とします。

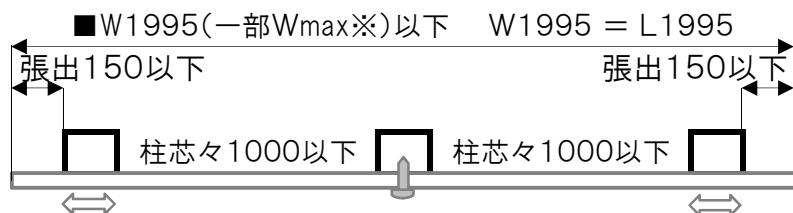
①規格の板材長さ、板接続部の標準隙間5mmの組合せにより、以下の通りの基本寸法設定となります。



※規格の板材長さL1995から2枚取りする場合の考え方

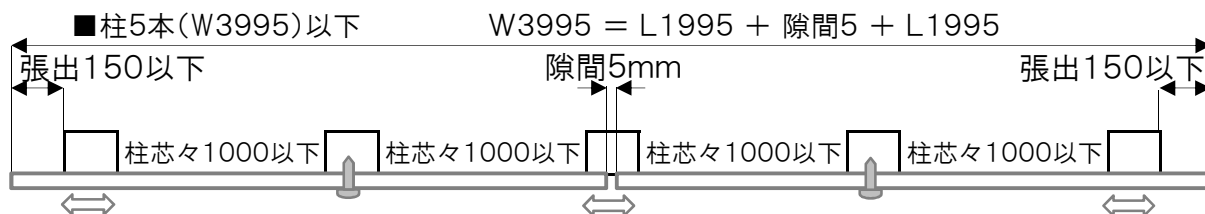
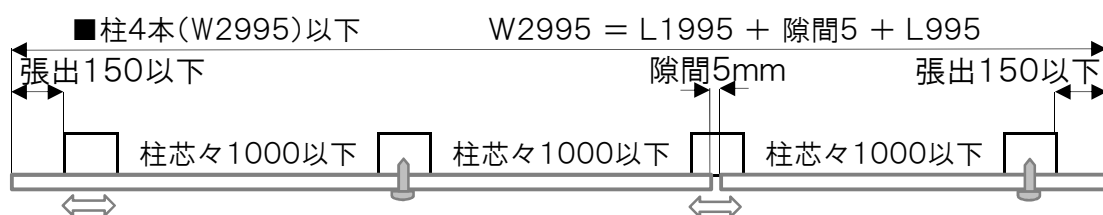
$$L1995 - \text{鋸刃厚} 3\text{mm} = 1992\text{mm}$$

$$1992 \div 2 (\text{センターカット}) = 996 \div W995\text{mm}$$



※Wmax: 柱3本、一部板材L2400の場合の最大幅

柱	張出し	柱	柱間	柱	柱間	柱	張出し	Wmax
50幅	150	50	950	50	950	50	150	2,350
60角	150	60	940	60	940	60	150	2,360
70角	150	70	930	70	930	70	150	2,370



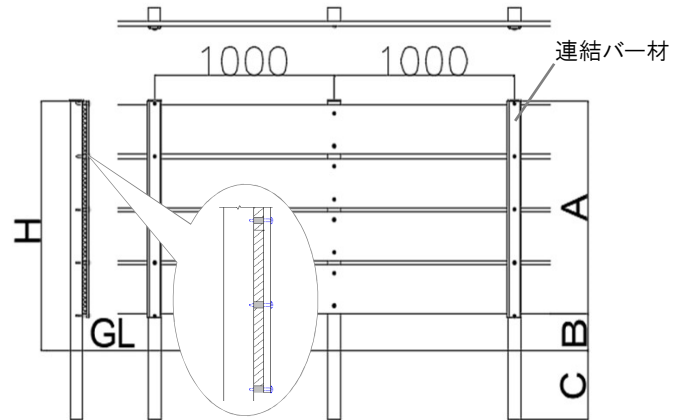
■基本寸法

【連結バー材(押え板)仕様】

※スライド固定部に連結バー材を使用してください。

※H=1200超は、ブロック施工不可となります。

※Eウッドスタイル プレミアム に固定部品の設定はありません。



※最上部・最下部の当て板寸法は10mmです。

※下記は隙間(当て板)20mmで施工時の寸法です。

120サイズ					
呼 称	A	B	C	H	ブロック施工
4枚貼り	550	50	200	600	○可
5枚貼り	690	110	200	800	
7枚貼り	970	30	200	1,000	
8枚貼り	1,110	90	300	1,200	
10枚貼り	1,390	110	400	1,500	×不可
11枚貼り	1,530	70	400	1,600	
12枚貼り	1,670	130	500	1,800	
14枚貼り	1,950	50	500	2,000	
15枚貼り	2,090	110	500	2,200	

120+45サイズ					
呼 称	A	B	C	H	ブロック施工
5枚貼り	540	60	200	600	○可
7枚貼り	745	55	200	800	
9枚貼り	950	50	200	1,000	
11枚貼り	1,155	45	300	1,200	
13枚貼り	1,360	40	400	1,400	×不可
15枚貼り	1,565	35	400	1,600	
17枚貼り	1,770	30	500	1,800	
19枚貼り	1,975	25	500	2,000	
21枚貼り	2,180	20	500	2,200	

■柱サイズ

アルミ型材柱 JISA6063対応品			コート柱 亜鉛非合金化メッキ鋼管		
角寸法(mm)	規格長さ	許容最大H寸法	角寸法(mm)	規格長さ	許容最大H寸法
50x30x1.6 (35x35x2)	1,000	800	40x40x2	1,000	800
	1,200	1,000		1,200	1,000
	1,500	1,200		1,500	1,200
50x50x1.5	2,000	1,600	52x52x2.4	2,000	1,600
60x60x1.5	2,300	1,800		2,400	1,900
60x60x2	2,500	2,000		2,700	2,200
70x70x2	3,000	2,500			

※施工場所を考慮して、十分な強度が確保できる 柱を選択してください。

※連結バー材(押え板)仕様

$A = 10 + (\text{隙間} \times (\text{板の段数} - 1) + (\text{板の幅} \times \text{板の段数}))$

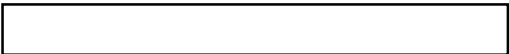
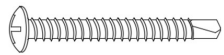
※H=A+B(自由に変更ができます)

■梱包明細表

⚠ 注意

- 開梱時に部品の種類と数量を確認してください。
- 商品に異常がないことを確認してください。

1 板材

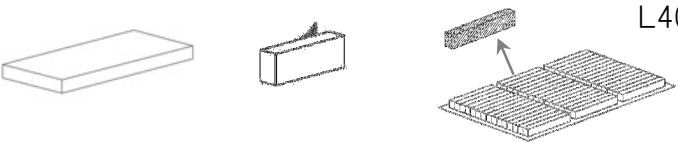
名 称	略 図	数 量
120サイズ : L1995×H120×D10 45サイズ : L1995×H45×D10		10枚
連結バー材・直止め用ネジ φ4×35ドリルネジ		30本
取付・取扱説明書		1

2 柱

名 称	アルミ柱			コート柱			数 量
	角寸法(mm)	L寸法(mm)	許容高さ(mm)	角寸法(mm)	L寸法(mm)	許容高さ(mm)	
柱本体 (別売) 柱キャップ付	50 x 30 t1.6	1,000	800	40 x 40 t2.0	1,000	800	必要数
		1,200	1,000		1,200	1,000	
		1,500	1,200		1,500	1,200	
	50 x 50 t1.5	2,000	1,600	52 x 52 t2.4	2,000	1,600	
	60 x 60 t1.5	2,300	1,800		2,400	1,900	
	60 x 60 t2.0	2,500	2,000		2,700	2,200	
	70 x 70 t2.0	3,000	2,500				

3 連結バー材セット

※板45サイズと連結バー材は、45x10mmの同一断面となります。梱包表示を確認して使用してください。

名 称	略 図	数 量
連結バー材 ※現場でカット W45x10 x L約2000・L約2500	連結バー材 当て板(両面テープ付) スポンジ(両面テープ付) 	1本
当て板		
ジョイント部用スポンジ		

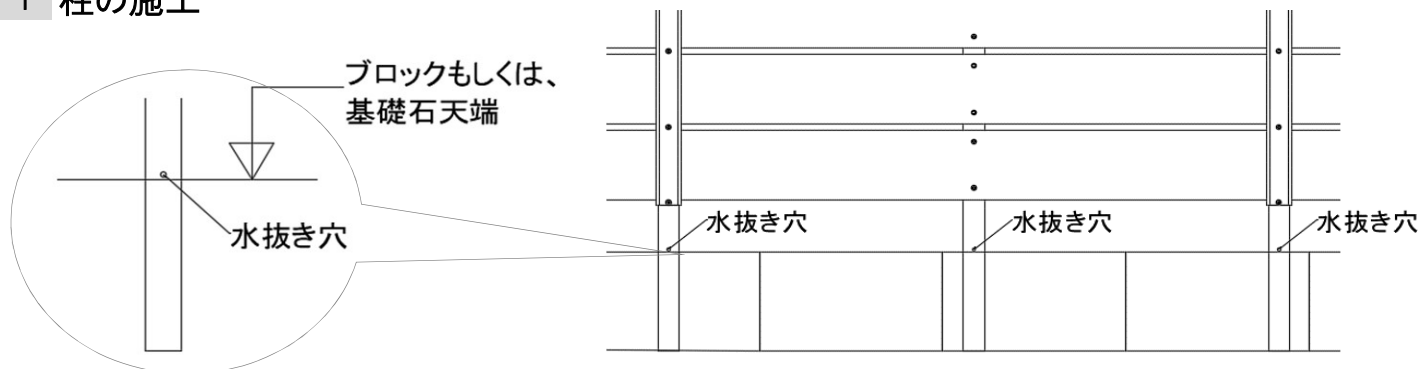
■基礎工事について

⚠ 注意

- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因になります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。

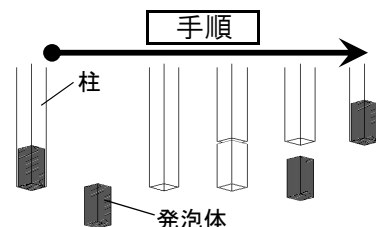
■施工手順 (連結バー材仕様・固定部品仕様共通)

1 柱の施工



⚠ 注意

- 必ず柱に水抜き穴をあけ、柱穴に柱を立てモルタルを打設してください。
※モルタルを打設後に柱を立てると柱内部に水がたまり、凍結破損の原因になります。
- L1500以下の柱には、柱脚に発泡体が挿入されています。柱の切詰加工をする際には、発泡体を抜取ってから切断加工し、再度挿入してください。
※ブロックまたは基礎石施工の場合、発泡体のない状態で柱を施工すると、凍結破損の要因になります。

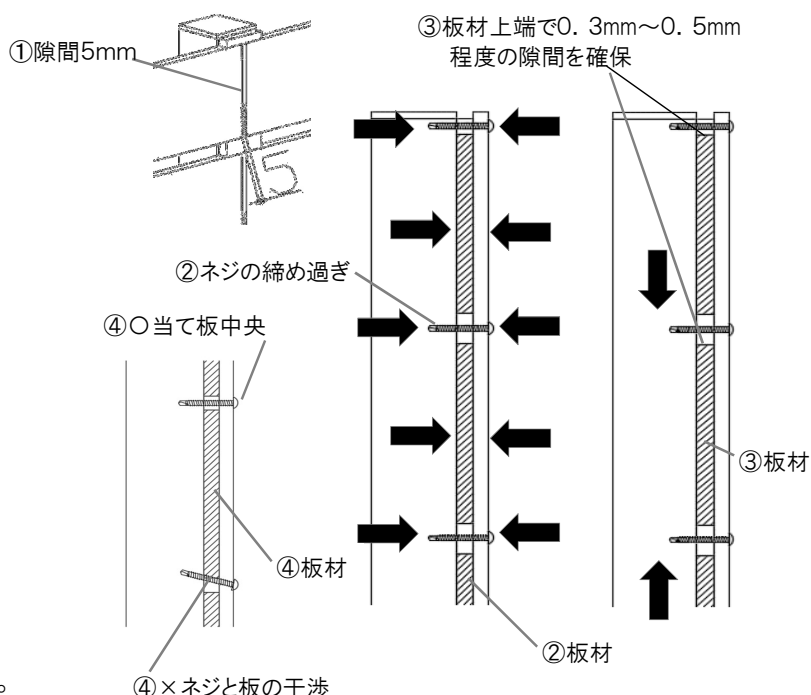


⚠ 注意

- 柱が完全に固まってから本体を取付けてください。
- 両端部の板材をハネ出すと美しく仕上がります。ハネ出しは150mm以下にしてください。
- 柱は必ず垂直に施工してください。
- 50×30角柱に施工する場合は、50の面に板材を取付けてください。

2 パネル取付前の再確認事項

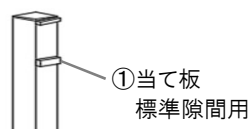
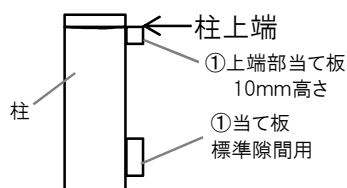
- ①スライド固定部のパネル連結部の板は、スポンジを使用して隙間5mm以上を確保してください。
- ②スライド固定部の連結バー材取付けネジは、余力を残して仮止めし、全体の確認後に本締めしてください。ネジの締め過ぎは、スライド固定の機能を失う場合があります。
- ③当て板は、スライド固定部での伸縮が確保できるように、板材上端で0.3~0.5mmの隙間を開けながら貼付してください。
- ④幅の狭い当て板を使用する場合は、必ず当て板の中央でネジ止めしてください。
※ネジが板本体に干渉するとスライド固定の機能が損なわれ、反り・曲りの要因となります。



3-1 連結バー材(押え板)仕様の場合のパネル取付方法

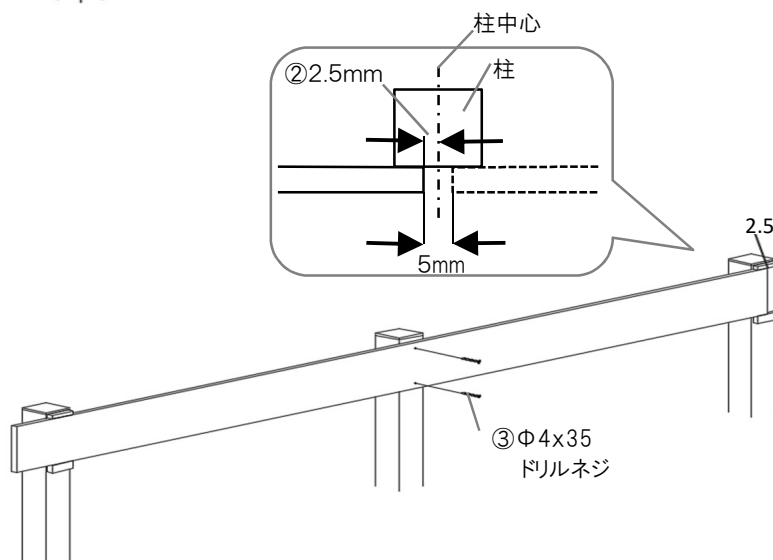
※以下、Φ4x35ドリルネジの取付け前にΦ3.2～3.3程度の下穴を開けるとネジ止め作業が容易になります。

- ①スライド固定部に上端部当て板(10mm高さ)、標準隙間部は指定高さの当て板を貼付します。



- ②左から3本目の柱中心ー2.5mmに板の端部を合わせます。

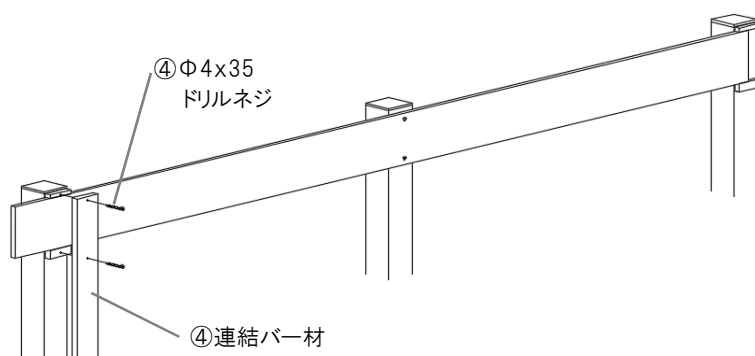
- ③左から2本目の柱中心でのネジ固定部をΦ4x35ドリルネジで固定します。
※45mm幅の板は、ネジ1本止めです。
※ネジ止めは仮止めとし、最終段階で本締めしてください。



- ④左から1本目の柱中心に連結バー材をΦ4x35ドリルネジで仮止めします。

※ネジ止めは、当て板の高さ中心、連結バー材の幅中心としてください。

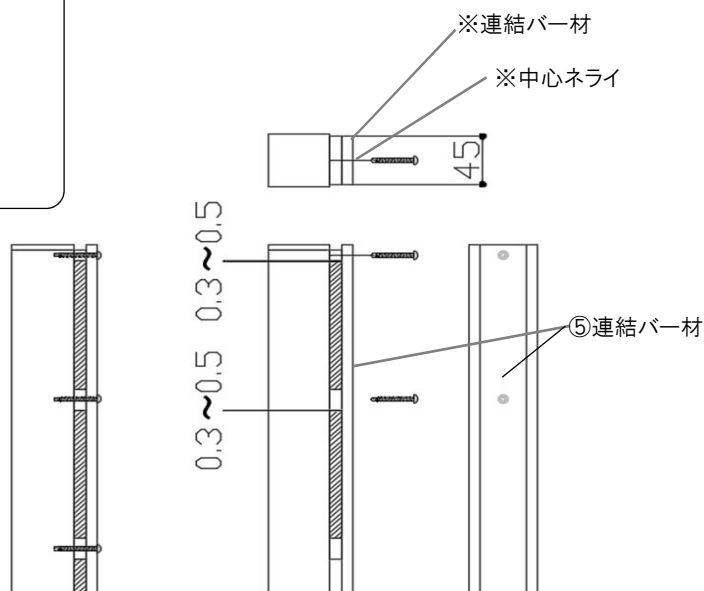
※連結バー材の上端は、柱キャップ上端に合わせてください。



⚠ 注意

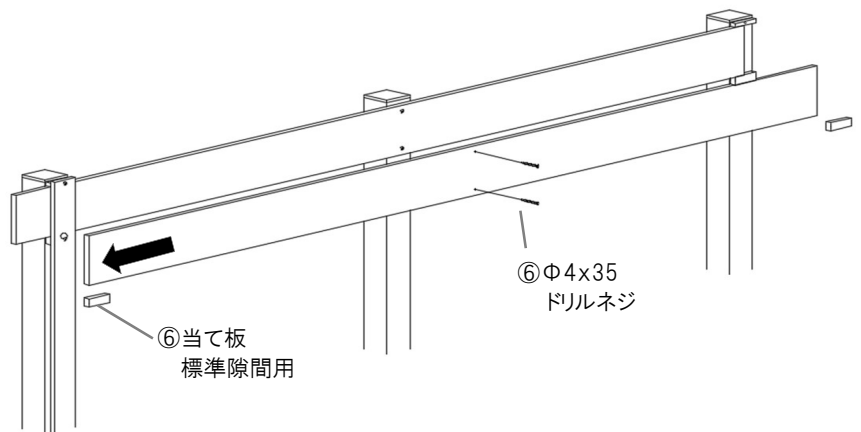
●連結バー材として使用する45x10の板には中心V溝がありません。
当て板中心、板幅中心にネジを止め付けてください。

- ⑤当て板貼付の際は、板材上端に0.3～0.5mm程度の余裕を持たせてください。

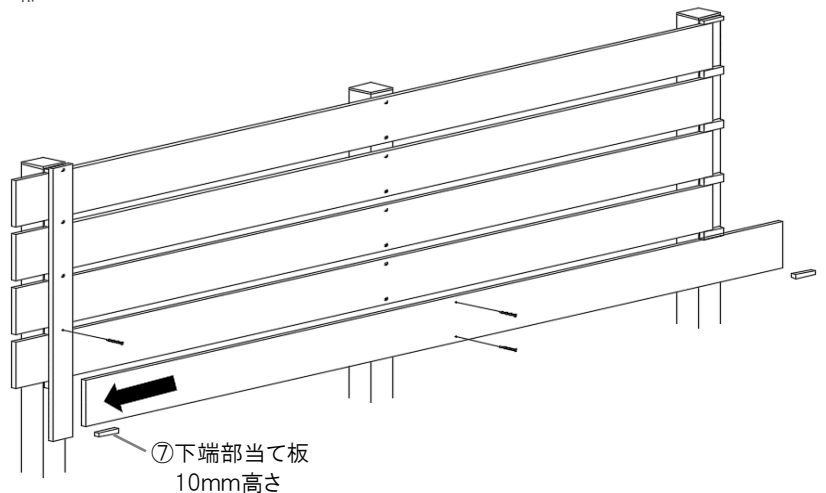


3-2 連結バー材(押え板)仕様の場合のパネル取付方法(つづき)

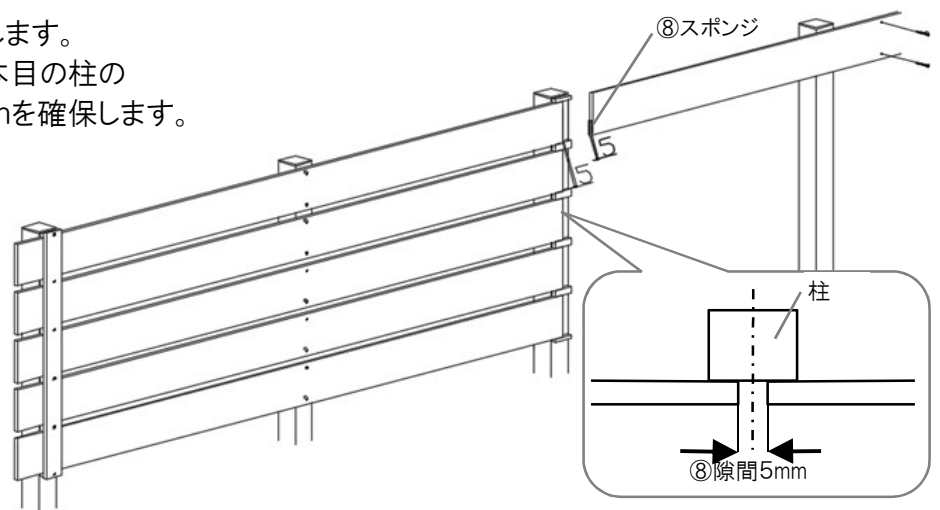
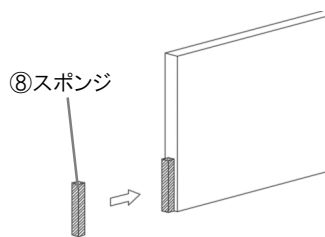
- ⑥当て板貼付後、2段目板のネジ固定部を
Φ4x35ドリルネジで固定します。
※45mm幅の板は、ネジ1本止めです。



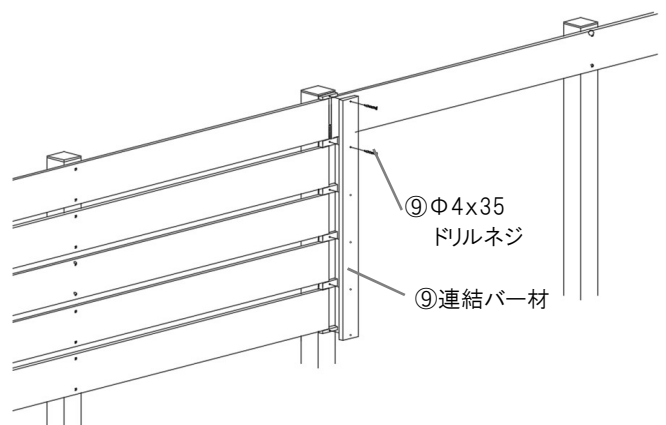
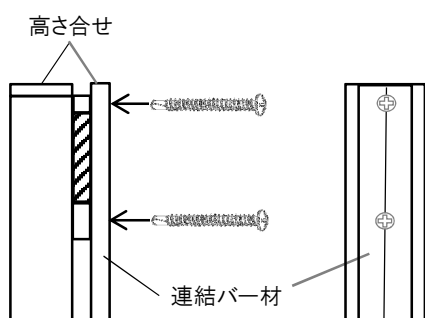
- ⑦左から3本目の柱までを同様の方法で、
最下段まで板材を取付ます。
※最下段の当て板は、高さ10mmと
なります。



- ⑧スポンジ(5mm幅)を板端部に貼付します。
厚みを目安として使用し、左から 3本目の柱の
スライド固定部の板同士の隙間5mmを確保します。

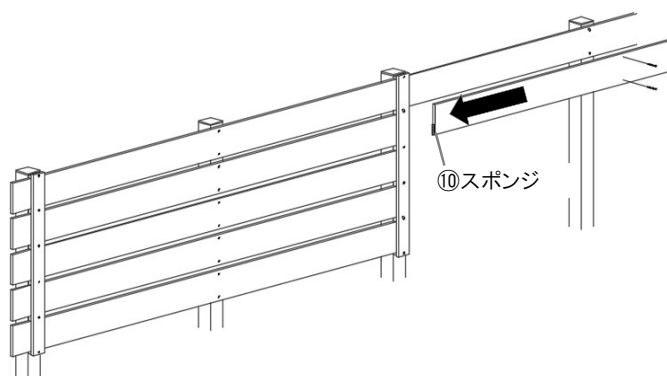


- ⑨左から3本目の柱中心に連結バー材を
Φ4x35ドリルネジで仮止めします。



3-3 連結バー材(押え板)仕様の場合のパネル取付方法(つづき)

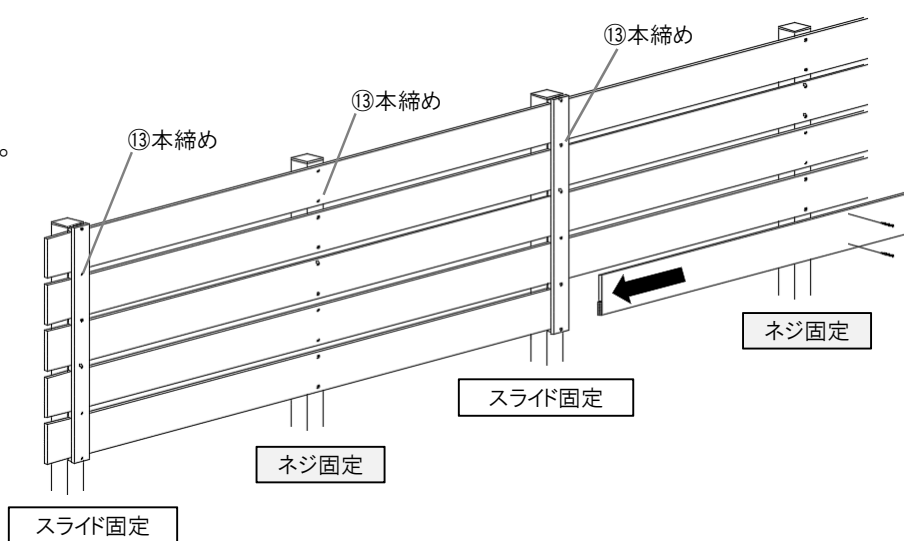
- ⑩ スポンジ(5mm幅)を目安として使用し、
左から3本目の柱のスライド固定部の
板同士の隙間5mmを確保します。



- ⑪ 最下段まで同様に繰り返します。

- ⑫ 全スパンの組付けが完了後、
全体の組付け状態を確認してください。

- ⑬ すべての取付けネジを
本締めしてください。



⚠ 注意

- スライド固定部の連結バー材取付けネジを締め過ぎると、伸縮に対応するための『スライド』が機能しなくなります。

EXIS 株式会社 **エクシス**